

発災時間帯別の行動パターン

通勤・通学の
時間帯

原則、自宅待機！

就業・就学の
時間帯

原則、施設に
とどまる！

帰宅の時間帯

原則、施設に
とどまる！

- 移動中で職場に近い場合は職場に移動
- 移動中で自宅に近い場合は自宅に移動
- 自宅にも事業所にも移動できない場合は
周辺の安全な場所で一時待機

職場、学校にとどまる！

災害対策や事業継続を行う人を
除きむやみに移動しない！

事業所・学校など
において、待機できる
よう事前に計画を！



大規模災害発生時の 一斉帰宅の抑制

『むやみに移動を開始しない』

移動するの
待って！

とどまって！

就業
就学
の場合

観光など
で
屋外に

商業施設
などに
いるなら

むやみに移動を
開始しない！

施設内に
とどまる！
むやみに移動しない！

係員の指示に
従って待機

裏面を参考に事前の準備を！

滞在場所を自ら確保！

検索 大阪市 宿泊施設

一時的に滞在できる
場所（一時滞在施設）
にて安全確保

大規模集客施設など
では利用者が待機できる
よう計画を！

事業所で取り組むこと

業務継続のためにも！

施設内待機のための備えを！

従業員や利用者の一斉帰宅を抑制し、施設内で待機できるように、計画をつくり、備えておきましょう。

従業員・利用者の待機場所を決めておく

従業員の安否確認方法を決めておく

安全対策

棚や機器の転倒・移動防止

水・食料やトイレ等の備蓄

水（1人あたり1日3リットルを3日分）・主食3日分
保温シート・簡易トイレ・衛生用品・懐中電灯などの物資・資機材

情報収集方法の確認・周知

従業員・利用者への日ごろからの周知



情報収集の方法

● おおさか防災ネット



警報情報、地震や津波情報、災害発生時の被害・避難情報等の防災情報を提供するポータルサイト



● 大阪防災アプリ

災害発生時の被害、避難情報、帰宅困難者の受入れ一時滞在施設の情報等を提供

● 防災情報メール

メールアドレスを登録しておく、気象、地震、津波、災害時の避難情報等の防災情報がメールで配信



事前に登録しておきましょう。

個々で備えておくこと

職場や学校、買い物や映画、観光など、出かけている時に災害が発生したらどうするか、事前に心得て備えておきましょう。

基本は、むやみに移動を開始しない！

● 職場、学校などで個人でも備蓄

- ・水や食料などを余分においておく
- ・自分にとって必要な薬などを常にもっておくなど

● 積極的に情報収集

- ・災害時に活用できるよう事前に登録などをしておくなど

● 歩いて帰る必要が生じることも想定して準備

- ・災害時帰宅支援ステーションの位置を確認
- ・歩きやすい靴を職場などに準備
- ・飴などを携帯しておくなど

● 家族などとの連絡方法を確認

- ・災害時に家族などの安否確認ができるよう事前に決めておく
- ・災害伝言ダイヤルを使えるように体験しておくなど

家族等との連絡方法

通常の通信手段が使えなくなることも！
下記の安否確認方法を活用するなど、いざという時、複数の連絡手段を確保できるよう準備！

● 災害用伝言ダイヤル

171

● 災害用伝言板 (web171)



一斉帰宅抑制後の徒歩帰宅支援

災害時帰宅支援ステーション

災害時に歩いて帰宅する人々に、「水道水」「トイレ」「道路情報等の情報」の提供をしてもいい店舗で、店舗入口付近に黄色いステッカーが掲出されています。



帰宅困難者NAVI (ナビ)